

## 回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 17 号	平成26年6月6日	伊予市役所	総務部 総務企画課
題 目 (テーマ) : 外国語 (英語、中国語、韓国語) が通用する町・伊予市に			
提 案 内 容 (要旨)			
<p>これからの観光は滞在型の比重が増してくると思われます。名所旧跡を見て回るのではなく、その町での暮らしを体験し、人々と交流することが重要になります。</p> <p>外国人の観光客も増えてきます。その場合、言葉の壁が問題になります。伊予市は日本語以外に3か国語(英語、中国語、韓国語)が通用する町を目指し、諸外国の方々と交流できる基盤を整えてみるべきではないでしょうか。</p> <p>英語、中国語、韓国語について無料で授業が受けられる講座を開設し、市民が生涯にわたって外国語を学べる基盤づくりをします。優秀な生徒にマイスターの称号を与え、各地域での語学講座の講臣を務めてもらいます(謝金あり)。</p> <p>瀬戸内の恵まれた気候、そして食文化(あじの郷)。そこでのんびりとした地方都市の暮らしを体験してもらいます。そして、内外に伊予市のファンを増やします。各国語のマイスター100人体制を目指します。そして、国際交流都市・伊予市を宣言します。</p> <p>別途提案書で申し上げたホームステイによる滞在型観光と併せて、世界一暮らしやすい町・伊予市を内外にアピールすることで、町のブランドイメージが確固たるものになるのではないのでしょうか。</p> <p>誤解のないように言っておきますが、私は語学ダメ人間です。しかし、伊予市で以上の施策が実施されれば、私も喜んで参加します。語学堪能な住民が増えれば、語学が産業基盤となり得ます。また、ここが重要なところですが、町の雰囲気が開放的でフレンドリーなものとなって来宙者の好感度が大幅に増し、国内からの移住者の増加も期待できるのではないかと思います。</p>			
回 答 内 容			
<p>このたびは、外国語 (英語、中国語、韓国語) が通用する町・伊予市につきまして、貴重なご提案をありがとうございました。</p> <p>国際交流についての現状を申し上げますと、「中学生海外派遣事業」を実施しています。平成22年度からはアメリカのオレゴン州セーラム地域を派遣先とし、未来を担う中学生が、現地の人々や自然環境と触れ合いながら研修することで、近年のグローバル化に対応した広い視野と国際感覚の醸成及び健全育成に一定の成果を残してきたものと考えます。</p> <p>さらに、中央公民館において、幼児・小学生を対象とした「伊予市ワールドスタディー (英語講座)」を開催しており、外国人と接する機会が増えてくるこれからのグローバル化時代を生きていくために、子どもの頃から物事を地球的な視野で考え行動する国際感覚とコミュニケーション能力を高め、国内はむろん国際社会での基本的なマナーや礼儀を身に付ける目的で実施しています。</p>			

ただ、生涯学習としての一般（大人）を対象とした語学講座がないのが現状ではありますが、行政からの一方的な機会の提供では長続きはしないことが今までにも多く見受けられますし、行政だけでは対応できないこともあります。

かなりのマンパワーも必要となるかと思いますので、ご提案いただきました国際交流都市を目指すためには、NPO法人やボランティア活動団体等のような組織づくりの機運を高めるための政策づくりが優先されるべきと考えます。

また、近い将来、国際感覚を身に付けた子どもたちが各地域で何らかの形で活躍できるためのまちづくり・体制づくりが必要であると考えておりますので、ご支援ご協力をいただければ幸いに存じます。

今年度においては、県・市町連携事業により県のリーダーシップで台湾との交流拡大を進めておりました、文化・観光・経済交流等の推進体制を構築していく予定であります。当市としてどのような活動ができるか検討していきたいと考えておりますので、重ねて今後ご指導いただきますよう、よろしくお願いいたします。